

2021
夏号

発行：～ながラー
県美帖丸
(シミズ/タナトコロ/ヨシハラ)

パンフレットには載ってない岐阜県美術館
の魅力をお伝えするフリーペーパー

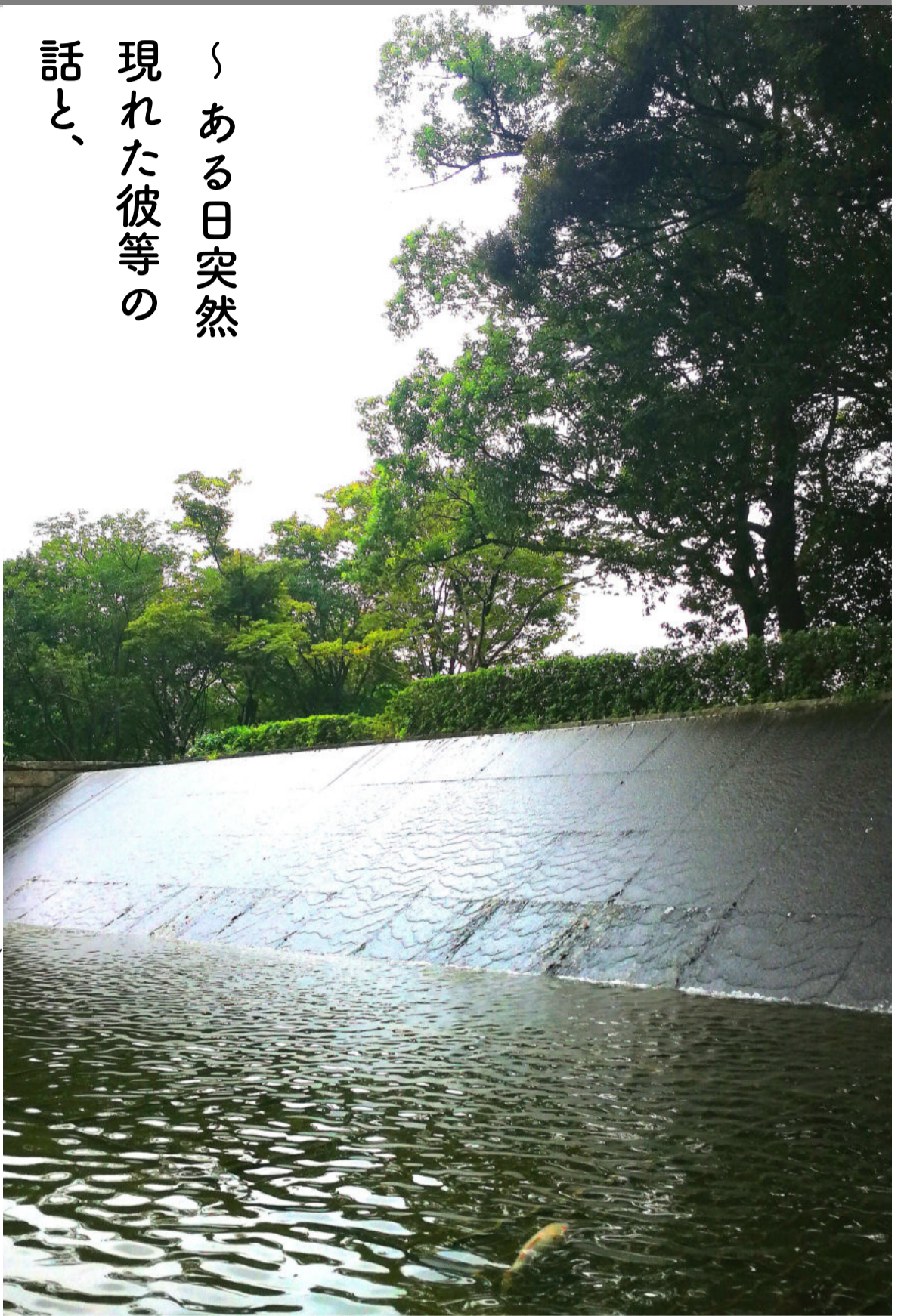
～ながラータイムズ

TAKE
FREE

鯉

彼等が小川へ
向かうのをや
めた件につい
ての考察

ある日突然
現れた彼等の
話と、



『鯉っ！？えっ！？鯉がいた…』なかなか驚いたんです私。皆さんご存知でした？西門の水辺に棲む鯉の話なんですけどね。正門→美術館間を直行直帰した私は彼等の存在に気づいていなかったのです…。鯉の目前に佇んでみたら、斜面を流れる涼やかな水の音と視界いっぱいの緑。そして、鯉。こりゃまたしても皆さんにご紹介すべきポイントが増えたなあ。しかしいつからここにいたのだろうか？ 諸々鯉の素性が気になってきました。

と、いうわけで西門の鯉が気になって仕方がなくなったタイムズ編集部は美術館スタッフに取材を申し込んだ！

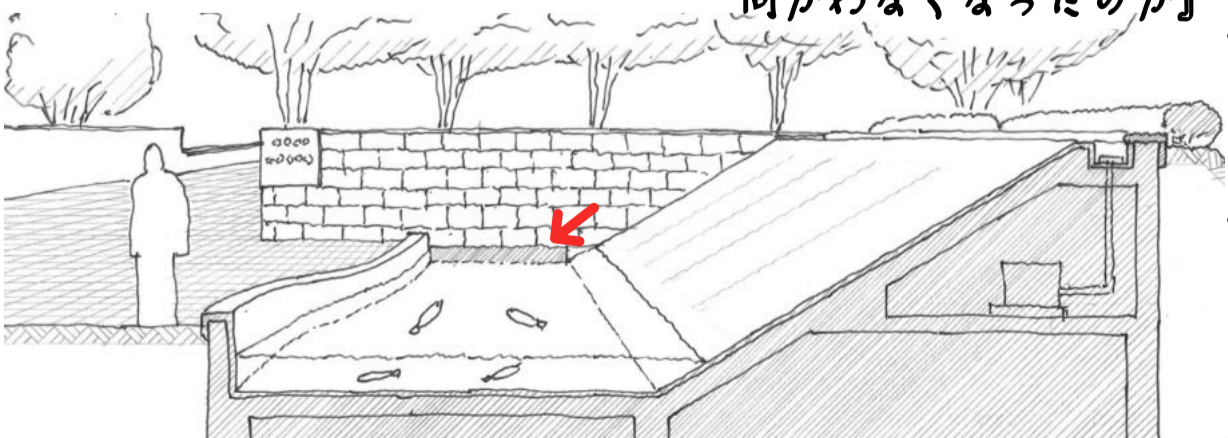
(※これから語られるエピソードは古き良き時代のお話です)

まず衝撃の事実。彼等は20年ほど前のある日突然ここに居たということ。どなたかが放流してしまったようなのです！（注意：飼育放棄ダメ！絶対！）放った御本人なのかは定かではありませんが以前は『朝9時頃に散歩の人がパンくずを持ってきてあげてましたね。今はないですけどね。貼り紙してありますから。餌あげないで下さいって』（警備：佐藤さん談）そうなんです！美術館が購入した鯉ではなかったんです！餌にまつわるエピソードではこんな驚きの証言も…『10年くらい前、池の前にすき焼きが置いてあったこともあって。しかも鍋ごと。鯉たちお肉の取り合いしてました』（清掃：田口さん談）…笑撃です！更にスパゲッティが置いてあった事もあったそう。一時期は餌が洋食化していた彼等ですが今は藻を食べて軽やかに泳いでおります。（注意：餌づけダメ！絶対！）そう。今は餌やりダメなんです。庭園の小川に続く水ですしね。暑い時期、特に水質の悪化にも繋がります。ただ、お話を伺って何か爽快な気持ちになったんです。何かと規制の多い現代。更にコロナ禍の息苦しさも相まって、この自由かつ勢いのあるエピソードにノスタルジーを覚えたのかもしれない。長きに渡り美術館を綺麗にしてくださっている田口さんは、まだまだ『昔は鴨が来てて子も産まれたり。その子がカラスにいじめられて…』やら『ハクビシンもヘビも昔はよく居たけど…ツバメも来なくなりましたね』『キツツキも一昨年は来てたんですよ』など。一昔前はこんな街中の県美の庭も森の中の様だったのですね。県美の庭を愛すタイムズ編集部が心ときめくお話を沢山してくださいました。小川きれいにしたら鴨だけでも戻ってくれるかしら。みんな居なくなってしまって寂しい限り。しかし今回とても嬉しかったのは、編集部よりも遙か前から県美の庭の魅力を感じながら陰で支え続けてくださっているスタッフの県美愛に出逢えた事。取材の最後にも『鯉かわいいよ。見てって』と田口さん。終始彼女から感じる県美愛に大袈裟でなく胸熱でした。皆さん安心して下さい！突然現れた彼等ですが愛されています！皆さんも来館の際はぜひ愛でてやってください。素敵な時間だったなあ。うん。しかし… 気になります…どうでも良い事気になっちゃうタイムズ編集部はあるエピソードに引っ掛かり、また新たな疑問が生まれた。『ある頃から鯉は小川に向かわなくなった』という件。『なぜだろう??』という訳で↓

結論出さない！タイムズの夏休み自由研究

仮説(妄想)を娛しむ

『彼等はなぜ小川に向かわなくなったのか』



日頃彼等が居る西門外側から庭の中央を流れる小川へは、矢印部分をくぐれば行くことができ、以前は小川を泳ぐ彼等の姿が見られた。ではなぜ今、小川に行く者がいなくなったのか過去の出来事を知る方の証言を元に仮説を立ててみる。

《証言①》→カラスが子鴨をいじめていた。

《仮説①》カラスに殺られた仲間がいた為、小川はキケン地帯だと噂が広まっている。彼等は命を守る行動をとっている。

《証言②》→ただいており、そこで彼等はちゃんとした鯉の餌を食していた為ふっくらして帰ってきた。

《仮説②》転居先では池の中ですくすくしてただけでも食うに困らずだった為、小川まで餌を探しに行くストイックさを忘れ小川へ向かう文化が継承されず途絶えた。

マダムに聞いてみた ～お池の中から貴方をお迎え～

第2回



アリスティド・マイヨール《地中海》(1902-05)

Q コロナな暮らしに飼いやられてしまったのか、どこかに出掛けたい気持ちもすっかり萎えてしまっています。マダムさんは密かに抱き続けている野望などはありますか？(73才 O.T)

A お気持ちよく分かります。私ごときの話で恐縮ですが…ずっと此処におりますと、囚われの身のように思えてきてしまい、ふて寝したいような日も正直ありました。でもね、小川を果敢に行き来する鯉さんたちを目にした時、私もいつかはという気になったのです。私もあの庭側立ってみたい！いつかは成し得たい野望です。ある日突然、《勝利のヴィーナス》さんと入れ替わっているかも知れませんよ。お楽しみにね。

マダムに聞いてみたでは、貴方からのマダムへのご質問やご相談をお待ちしております。

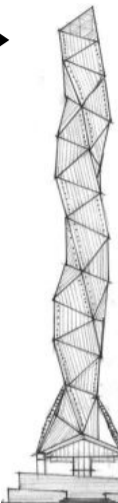
連想ゲーム - 県美庭園から県民文化の森へ -

庭園に咲き 県美Twitter でもおすすめ



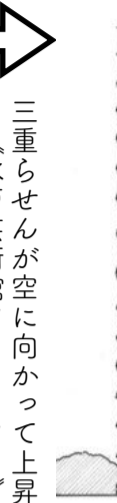
らせん状の花《ネジバナ》を見ると水戸芸タワーを思う

《明後日朝顔》プロジェクトで 県美と繋がる



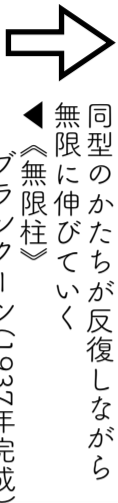
三重らせんが空に向かって上昇 《水戸芸術館アートタワー》磯崎新(1990年完成)

水戸芸ターはこのアイデアに 魅了されモデルにしたとの事



同型のかたちが反復しながら 無限に伸びていく 《無限柱》ブランクス(1937年完成)

いつ見てもいいなと思う



同じく空に伸びてたつ 県美と県図書館の間にある塔 《HELIIX》 藤田愛二郎(1995年完成)

これって『ナンヤローネ』 県美と県図書館の間にある塔

田中の目線

西門⇄美術館を堪能し尽くす！

運勢

占師・県美外壁タイルのシノさん

やあ！

ユルク

6月生：夏風邪に注意。お買い物は右から3番目を選んで。

7月生：午前中に県美庭園でラジオ体操が吉。人気運。

8月生：お部屋に花を飾ると運氣上昇。ジャンケンはグーを。

9月生：長良川沿いを散歩が吉。県美庭園の小川でも可！

10月生：ご褒美ランチで気分転換！よき出会いがあるかも☆

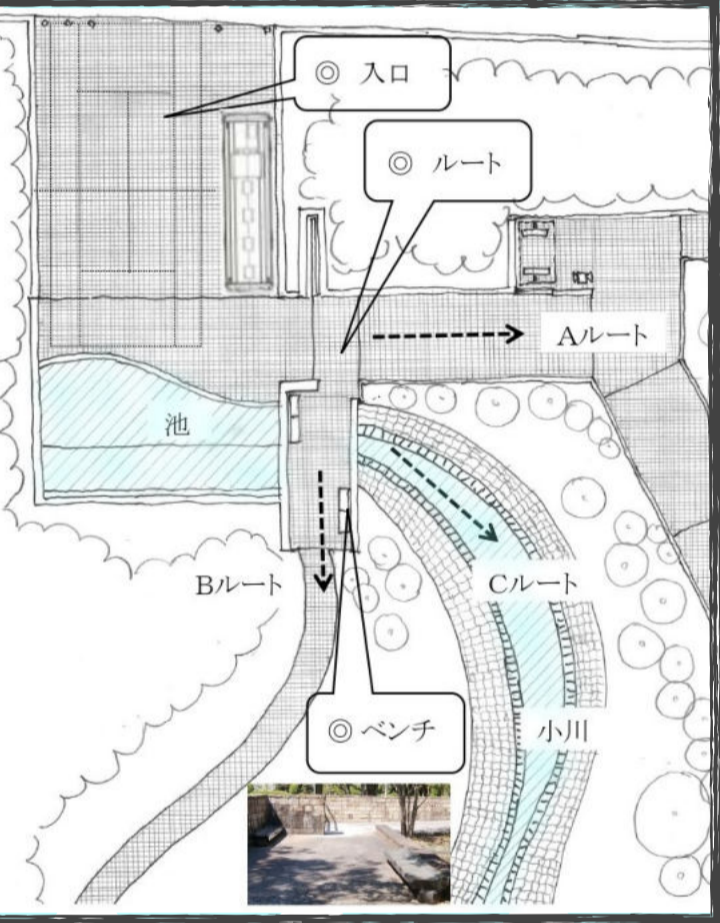
11月生：晴れた日に寄り道すると新たな発見でハッピーに。

12月生：気持ちは素直に言葉で伝えるべし。落し物に注意。

『ズームアップ西門(旧正門)』

さすがに正門を36年間担ってきただけあって “いい門持ってますねー” 的なものを見つけました

- ◎「入口」なんでもこい！の入口
◎「ルート」あなたはどっち派！？
◎「ベンチ」時代を先取り！



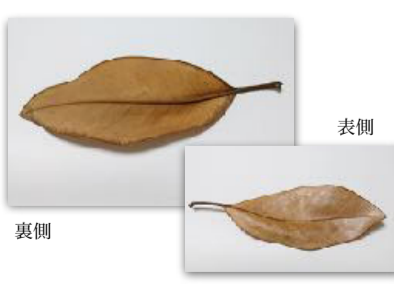
樹高が20mにもなる巨木。故に花もデカイ！でも見づらい！*花の鑑賞は職員門前の別木をオススメする



李禹煥の《関係項》を重ねつつ眺める、木々たちの“関係項”もなかなか。一考に値します。



花は乳白色で艶めかしくさえる。香料の原料にもなるほどの芳香も圧巻。「マグノリア」とはこの花の香りをさす。



清掃担当さん泣かせのこの葉。細毛が生えている裏面が地表に張り付いてしまうと、竹ホウキで掃くにも全く滑ってくれないのだ。

深追いタイムズ

創刊号(令和3年5月発行)の一面記事で取りあげた 泰山木の木 が6月中旬に見頃を迎えました。

